

1 災害から身を守るために知っておくべきこと

災害に備えて知っておくべきこと(風水害・土砂災害)

避難に関する
情報

災害時に落ち着いて行動をとるためには、事前の準備や備えが大切です。自分の命を自身で守るためにも、避難のタイミングをしっかりと確認しておきましょう。

<避難のタイミング>

岡山市では、災害が差し迫り避難が必要になった場合、避難情報を発令します。**警戒レベル4までに、安全な場所へ必ず避難しましょう。**

警戒レベル5
緊急安全確保

すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。直ちに身の安全を守る最善の行動を取ってください。
※必ず発令される情報ではありません。

～～<警戒レベル4までに必ず避難！>～～

警戒レベル4
避難指示

全員速やかに避難の行動をとってください。

- 危険な場所から全員避難をしましょう。
- あらかじめ、ハザードマップ等で安全を確認した上で屋内安全確保(垂直避難)も検討しましょう。

警戒レベル3
高齢者等避難

- 避難に時間を要する人(高齢者、障害のある人、乳幼児など)と、その支援をする人は避難を開始しましょう。
- あらかじめ、ハザードマップ等で安全を確認した上で屋内安全確保(垂直避難)も検討しましょう。
- その他の人は避難の準備をし、自発的に避難を始めましょう。

警戒レベル2
注意報

避難に備え、避難先や避難経路、避難のタイミングなどを再確認してください。

警戒レベル1
早期注意情報

最新の気象情報に注意し、災害への心構えをしてください。

緊急度が高まります
岡山市が発令
気象庁が発表



ハザードマップは、岡山市のホームページで見ることができます。市役所(危機管理室)、区役所、支所、地域センター、公民館でも配布しています。

「避難」って何をすればいいの？

命を守るために
最低限必要な
行動

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは、「難」を「避」けることと考え、あらかじめ避難するときはどう行動するか考えておきましょう。

● 指定された避難場所への移動

避難情報が出された地域にある、小学校、中学校、公民館(分館を除く)を原則、同時に開設します。※ただし災害の種別によっては、開設しない施設があります。

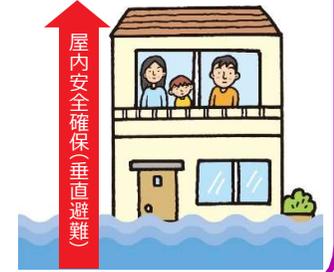


● 安全な親戚や知人宅への避難

あらかじめハザードマップで安全を確認した上で、災害時に避難することを相談しておきましょう。

● 屋内安全確保(垂直避難)

あらかじめハザードマップで安全を確認した上で、自宅の2階以上の部屋に避難しましょう。



⚠️ ハザードマップ(洪水・土砂災害)を確認しましょう!

● 想定される浸水の深さが、居室より低いか？

- 5m以上(2階屋根以上浸水)
- 3m~5m未満(2階軒下まで浸水)
- 2m~3m未満(2階床下まで浸水)
- 1m~2m未満(1階軒下まで浸水)
- 0.5m~1m未満(床上浸水)
- 0.5m未満(1階床下まで浸水)



● 土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域では無いか？

土砂災害警戒区域について

土砂災害(がけ崩れ、土石流、地すべり)が発生するおそれのある区域として、「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」があります。大雨・長雨のときや地震などで地盤が緩んでいるときには、土砂災害が発生するおそれがあります。

お住まいの場所が「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」に指定されている場合は、避難情報が出されたら、速やかに警戒区域の外に避難しましょう。万が一、避難が間に合わない場合は、山の斜面と反対側の2階以上の部屋へ一時避難してください。

2 災害から身を守るために知っておくべきこと

防災情報を入手しよう

防災情報の 入手方法

災害時には、いち早く正確な情報を得ることが重要。

テレビ、ラジオ、防災行政無線、緊急速報メール、X（旧Twitter）等のSNS、広報車・消防団による広報などがあります。積極的に活用しましょう。

テレビから入手

デジタルデータ放送から、リアルタイムで情報を入手することができます。

～NHKデータ放送の見方～

- ①NHK総合にチャンネルを合わせてリモコンの「d」ボタンを押す
- ②「防災・生活情報」を選択する
- ③気象情報、避難情報、河川水位の観測情報などを見ることができます。



パソコン・携帯電話・スマートフォンから入手

岡山県総合防災情報システム おかやま防災ポータル

県内の気象情報（注意報・警報、気象レーダー等）、雨量情報、土砂災害危険度情報、河川水位情報、河川カメラ情報等をリアルタイムで確認することができます。

- 検索サイトで で検索
- URLを入力 <https://www.bousai.pref.okayama.jp/>
- 右のQRコードを読み取っても接続できます。



岡山市ハザードマップ

岡山市のホームページで、ハザードマップを掲載しています。

- 検索サイトで で検索
- URLを入力 <https://www.city.okayama.jp/kurashi/category/1-2-1-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>



岡山市WEB版ハザードマップ

WEB版のハザードマップも公開しています。

岡山市内全域のハザード情報の確認や、調べたい場所を拡大できるほか、災害時には避難所の開設状況も確認できるので、こちらもご利用ください。

- 検索サイトで で検索
- URLを入力 <https://www.city.okayama.jp/bosai/hazardmap/index.html>
- 右のQRコードを読み取っても接続できます。



F Mラジオから入手

岡山シティFMへの割り込み放送

岡山シティFM [79.0MHz]（レディオMOMO）の放送中に、岡山市から緊急放送を割り込み放送します。

メールで入手

岡山市防災メール（日本語版・多言語版）

気象情報や避難情報などを、事前に登録していただいた携帯電話やスマートフォンなどにメール配信するサービスです。どなたでも登録できます。※登録は無料ですが、通信料が別途かかります。

～登録の手順～

1 空メールの送信

右のQRコードを読み込み、サイトの指示に従って空メールを送信する。または、下記のメールアドレスに、空メールを送信する。
bousai.okayama-city@raidens3.ktaiwork.jp



2 登録メールの受信

「メールサービス本登録のご案内」というメールが届きます。メール末尾に記載されているURLを選択したら、登録サイトに移動します。

3 登録

サイトの指示に従って、登録します。完了メールが届いたら、登録完了です。

※迷惑メール対策設定によりメールが届かない場合があります。「okayama-city@raidens3.ktaiwork.jp」を受信できるように設定変更をしてください。

岡山市からのその他の情報発信

- ◆ 岡山市公式X（旧Twitter）（@okayama_city）
- ◆ 岡山市公式LINE 『岡山市役所公式LINE』
- ◆ 岡山市公式Facebook 『桃太郎のまち』

岡山県おかやま防災情報メール

岡山県内の気象情報や、雨量・水位の観測情報などを、事前に登録していただいた携帯電話やスマートフォンなどにメール配信するサービスです。どなたでも登録できます。

※登録は無料ですが、通信料が別途かかります。

～登録の手順～

1 空メールの送信

右のQRコードを読み取り、サイトの指示に従ってメールを送信する。



2 登録メールの受信

登録メールが届いたら、メール本文内に記載された登録用URLを選択してサイトに接続します。

3 登録サイトで「かんたん登録」、「詳細登録」のいずれかを選択し登録する。

サイトの指示に従って登録します。

※迷惑メール対策設定により県からのメールが届かない場合があります。「mail_service@bousai.pref.okayama.jp」を受信できるように設定変更してください。※システムは、事前に通知することなく、一時的に遅延又は中断されることがあります。

その他の情報発信

◆ 緊急速報メール（エリアメール）
岡山市域（特定のエリア）内にある、携帯電話・スマートフォンに、緊急地震速報や災害・避難情報などが配信されます。

※QRコードはデンソーウェーブの登録商標です。

3 災害から身を守るために知っておくべきこと

災害に備えて知っておくべきこと(地震)

地震の震度と
想定される
被害

「震度」とは、地震発生時のある時点での揺れの強さを示すものです。震源に近い場所ほど震度は大きくなり、震源が浅い場合も同様に震度は大きくなります。地震の揺れは10段階で表されます。

震度 0	揺れを感じない。被害なし。	震度 5弱	棚にある食器類、書棚の本が落ちることがあり、窓ガラスが割れて落ちることもある。電柱で揺れが判別できる。
震度 1	屋内で静かにしている人の中には、わずかに揺れを感じる人がいる程度。	震度 5強	ものにつかまらなると歩行困難。固定していない家具が倒れることがあり、車の運転も困難。
震度 2	屋内で静かにしている人の大半が揺れを感じ、吊り下がった電灯などがわずかに揺れる。	震度 6弱	立っていることが困難。耐震性の低い木造家屋で倒壊するものがある。
震度 3	屋内にいる人のほとんどが揺れを感じ、棚にある食器類が音を立てることがある。電線が少し揺れる。	震度 6強	動くことが出来ない。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものも多数。耐震性の高い木造家屋でも壁に亀裂が。
震度 4	ほとんどの人が驚き、つり下げたある物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。	震度 7	揺れに翻弄され、ほとんどの家具が移動し、飛ぶものもある。耐震性の高い木造住宅でも、まれに傾くことがある。

緊急地震速報
について

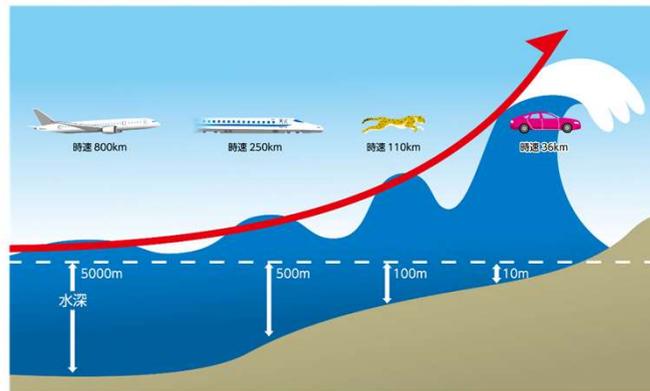
「緊急地震速報」は地震の発生直後に、各地での地震の到達時刻や震度を予測して、可能な限り素早く知らせるものです。推定最大震度5弱以上の地震が発生した時に、**震度4以上の地域にテレビやラジオ、携帯電話、スマートフォンなどで一斉配信されます。**



緊急地震速報が発表されてから地震の強い揺れが来るまでは、長くても十数秒から数十秒です。その短い間に何が出来るか、考えておきましょう。

津波警報に
ついて

津波はおそろしい力で人や家のみ込み、陸地に押し寄せる波だけでなく、海へと引き返す波もとても強力で、何度も繰り返し押し寄せます。また、津波が何キロも河川をさかのぼる場合もあるので、海が近くなくても十分に気をつける必要があります。



「津波の伝わる速さと高さ」
(気象庁ホームページより)

津波は水深が深いほど速く伝わり、水深が浅いところでは遅くなります。一方で、陸地に近づくにつれて、波が高くなります。人が走って逃げ切れるものではありません。津波から命を守るためには、津波が海岸にやってくるのを見てから避難を始めたのでは、間に合わないのです。海岸付近で地震の揺れを感じたら、または、津波警報が発表されたら、実際に津波が見えなくても、速やかに避難しましょう。



津波警報・注意報の種類

分類	予想される津波の高さ	
	数値での発表	巨大地震の場合の発表
大津波警報	10m超	巨大
	10m	
	5m	
津波警報	3m	高い
津波注意報	1m	表記しない

津波警報は、津波による災害の発生が予想される時に発表されます。巨大地震の場合は非常事態をお伝えするため、予想される津波高を、大津波警報は『巨大』、津波警報は『高い』と表現します。『巨大』『高い』という言葉を見たり聞いたりしたときは、**ただちに海から離れ、より高い場所に避難してください！**

※津波警報の発表方法、数値などは見直しされる場合があります。

災害から身を守るために知っておくべきこと

4 住宅の耐震化のすすめ

Step.0 地震が起きたらどうなるの？

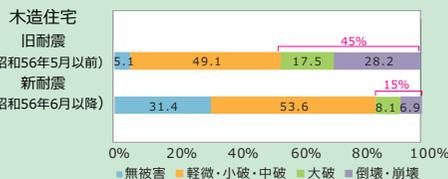
震度6弱以上の地震が起きると、立つことが困難になり、外へ避難することが難しくなります。耐震性の低い建物は倒壊や瓦の落下といった被害を受けたりします。



Step.1 地震が起きた時に危ない家ってどんな家？

昭和56年(1981年)5月31日以前の建物は古い基準(旧耐震基準)による旧耐震建築物と呼ばれ、地震に弱い建築物の可能性があり。熊本地震でも多くの旧耐震建築物が倒壊等の被害を受けました。特に震源に近い益城町中心部では約半数もの旧耐震建築物が大破・倒壊・崩壊の被害を受けています。旧耐震建築物の耐震性は耐震診断をすることで分かります。まずは、耐震診断をしてみましょう。

熊本地震における益城町中心部の被害状況
(日本建築学会調査より)



Step.2 住宅を耐震化しよう

耐震診断で耐震性が低いと判断された場合、耐震化するため耐震補強を実施します。耐震補強では、地震が起きても倒壊しないように、位置を検討しながら耐震壁や筋交い等による補強方法を検討し、耐震性を満たすための補強計画を策定します。計画に沿った形で工事を行うと、耐震補強完了です。



診断や補強を行う際に補助金が支給される場合があります!

詳しくは までお問い合わせください。

5 災害用伝言サービスについて

災害時は、一般の電話がつながりにくくなることがあります。災害用伝言サービスを活用しましょう。2つの種類があります。

1 災害用伝言ダイヤル171・災害用伝言板Web171 (NTT東日本・NTT西日本が提供)

(電話から)

- 《登録可能番号》
すべての電話番号
(固定電話は被災地域の市外局番に限る)
- 《保存期間》
サービス終了まで
- 《登録件数》
1~20件
(被災規模によって変わる)
- 《登録文字数》
30秒/件

~使い方~

①伝言を録音するとき
「171」をダイヤル
↓
「1」-「電話番号」をダイヤル

②伝言を再生するとき
「171」をダイヤル
↓
「2」-「電話番号」をダイヤル

※被災地の人は自分の電話番号を、被災地以外の方は被災地の人の電話番号を必ず市外局番からダイヤルする!

(パソコン・スマホから)

インターネットから「Web171」を検索
または<https://www.web171.jp/>へアクセス

- 《登録可能番号》
すべての電話番号
- 《保存期間》
6か月
- 《登録件数》
20件
- 《登録文字数》
100字/件



2 災害用伝言板

(NTTドコモ・au・ソフトバンク・Y!mobileの公式メニュー、専用アプリから)

(携帯電話・スマホから)

- 《登録可能番号》
携帯の電話番号
- 《保存期間》
サービス終了まで
- 《登録件数》
10件 (ソフトバンクは80件)
- 《登録文字数》
100字/件



災害用伝言サービスは体験利用ができます。使い方をあらかじめ確認しておきましょう。

【体験利用ができる日】

- 毎月1日と15日
- 1月1日~1月3日
- 防災とボランティア週間 (1月15日9:00~1月21日17:00)
- 防災週間 (8月30日9:00~9月5日17:00)

